



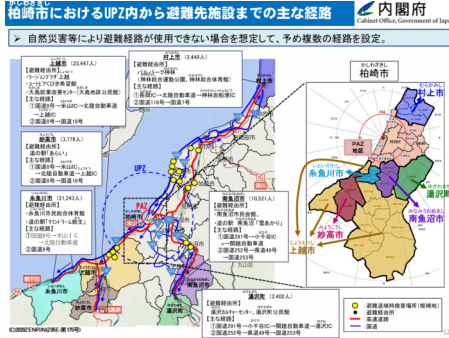
原発再稼働ストップ

# 遠藤れい子ひまわりレポート

○遠藤れい子事務所 〒940-0052 長岡市神田町3-1-3  
☎ 0258-32-1741 fax 0258-32-6443



## 資料169頁 331枚もの「災害を受けない避難経路は必ずある」の前提に疑問？ スライドを一気に説明



「自然災害で避難経路が使用できない場合の複数の避難経路」は本当に存在する？

**資源エネルギー庁が住民説明会**  
12月15日、資源エネルギー庁は長岡市内で住民説明会を開催。参加者には、①資源エネルギー庁(A4・15枚30頁)②原子力規制委員会資料5種類(28枚54頁)③原子力研究開発機構(3枚5頁)、④内閣府・柏崎刈羽地域原子力防災協議会作業部会(40枚80頁)の膨大な資料が配られました。これを短時間で一気に説明し、質疑応答もかみ合いませんでした。

**「安全」と「安全に避難」対策に大きな課題！**  
専門家や原発事業者が研究し整理してきた資料。さらに政府や自治体が検討を加え、積み上げてきた膨大な資料。これらを茶々と報告しておしまい。とても住民の理解を得ようという姿勢には見えません。  
**省エネ・再エネを無視する政策の転換を！**  
太陽光はタダです。エネルギーは無敵です。蓄電技術を開発し、地域ごとに発電すれば効率も良い。万一災害などで事故が発生したとしても放射能は絶対に出ない。原発事業を大優遇する偏った政策を見直すことが必要ではないでしょうか。県民の声を変えましょう。

**取組2:安全性を高めた新規制基準への対応**

新規制基準 (2013年7月)	シビアアクシデント対策
・危険な航空機衝突への対応 ・放射性物質の拡散抑制対策 ・燃料破砕防止対策 ・炉心損傷防止対策 ・炉心溶融防止対策	・原子炉建屋の耐震化 ・炉心溶融防止対策 ・炉心溶融防止対策

「新規制基準は放射能拡散を防ぐための対策」が大幅に追加されたがそれで大丈夫？

**遠藤れい子の笑顔でファイト**

竹島さん  
パーキンソン病の患者会設立  
2月長岡保健所の貸し出し事業に応募

このような機器を無料で  
スマートスピーカー スマートモニター  
スマートTV スマート冷蔵庫

QRコード

12月11日、UXニュースに竹島さんご夫妻の姿が映りました。久一さんは「肩の凝り」の症状が強くなり、10年前に病院でパーキンソン病と告げられ、気持ちが落ち込んで、皆さんと交流を重ねる中で少しずつ前向きな生き方に変化してきた。今年9月、長岡保健所の

**自ら難病となるも患者会をつくり、生活の質向上に励む姿が報道されました**

スマートスピーカーを使った難病支援策を知り、機器を導入。生活改善の支えになると実感し、自ら「転ばぬ先の杖」とチラシを作って難病患者の生活の質向上に向け取り組んでいます。

今県内では15人の方がこのスマートスピーカーを利用されているとのこと。今後利用が増えて、生活改善が図られるようになると思いますね。

**雪の中、スタンディング**

12月16日  
雪の降る中、中之島支所前  
交差点で  
「原発なくソニ」と元  
気にスタ  
ンディ  
ング。

**県民投票条例制定を求める署名活動**

12月14日、雪が降る寒い日でしたが、青葉台地区を地域訪問し、130筆の署名をいただきました。長町事務所にも、「署名しに来ました」という方が来所され励まされています。

12月16日現在、長岡市内の署名到達は 8,114筆です。12月28日まで頑張りましょう！